

# 三河商人道

PART  
164

(株)岡崎工業

代表取締役

福尾 清 君

## 青年部とは 人脈づくりの場



青年部在籍28年、桑谷町で土木・舗装工事業を営まれる福尾清さんの取材をさせて頂きました。

取材をさせて頂いた私天野と福尾さんは、実は17～18年ほど前、天野の前職当時に出会っておりました。当時既に社長に就任されており、営業に訪れた私を快く社長室に招き入れ、お茶をごちそうしてくださいました。お互いまだ若いころの話です。

福尾さんは地元高校を卒業後ゼネコンに就職し、その後(株)岡崎工業に戻られたとのこと。当時、叔父様が社長で経営されていましたが、36歳の時に病氣療養のため引退され社長に就任されました。

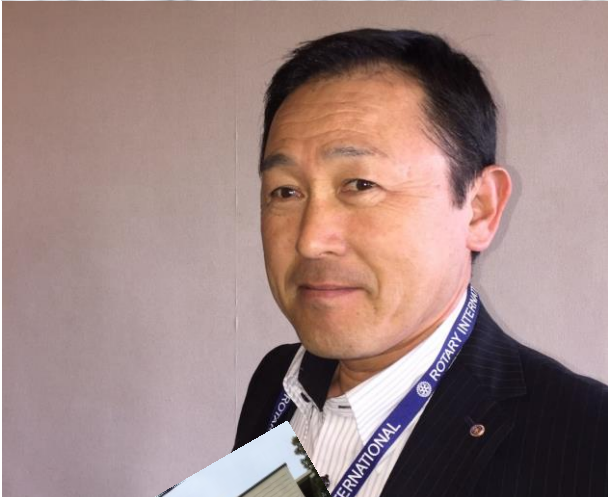
青年部への入会のきっかけは、地元に戻り社業で活躍されていたころ、商工会議所から「青年部立ち上げ」の案内を受け、会社から勧められたことだそうです。当時最年少のチャーターメンバーだったかと思います。周りを見渡せば先輩方ばかりの中、気を遣う日々。若くして、さらに現会社に戻って間もないころであったため、そりゃそうですよね。

まだ20代のころに入会し、その後に結婚、社長就任、各種団体にも加入し、在籍中にはいろんな転機が訪れました。そんな中でも青年部では印象に残る事が起きました。「〇〇君を中心とした青年部メンバーが、私の結婚祝いにも、康生通りを人力車に乗せてくれました。今でも印象に残っている恥ずかしい思い出」とのことですが、青年部ならではの経験で、まんざら恥ずかしいだけでなく、「あの時は本当に嬉しかった」とも聞こえるエピソードでした。

趣味はゴルフやソフトボール、スポーツは全般で、特に気の合う人と一緒に楽しめるのが最高です。ちなみにソフトボールでの福尾さんは、左投げ右打ちの変則プレイヤーです。

青年部とは「やはり、人脈づくりの場だ」と思います。若くして入会した私からすれば、右も左もわからぬ中で、青年部で出会った方々から学ぶことも多く、仕事の面でも刺激を受けることもありました。他団体に加入するにつれ、青年部には参加できないことも多くなってしまったのですが、今後さらに会員数も増え、さらに出会いが広がる場になって行くといいですね」とおっしゃっていました。

取材をさせて頂き感じたのは、17～18年ほど前と何ら変わらない、若々しさにあふれた福尾さんでした。いろんな場面でご活躍されているのが、若々しさの秘訣なんでしょうか。青年部をご卒業される年齢になれましたが、きつと10年後もお変わりないような気がしました。



取材担当/  
振興委員会  
天野 義之